

第2回 中学校給食推進連絡調整会議作業部会 会議録

- 開催日時 平成27年7月13日(月) 14:00~16:00
- 場 所 高津市民館 第6会議室
- 出席者 委員：中学校校長 佐藤校長、山田校長
小学校校長 山崎校長
中学校教頭 高城教頭
中学校総括教諭 三宅総括教諭、野口総括教諭(養護教諭)、甲斐総括教諭
川崎市教職員組合 阿部書記長、鈴木栄養教職員部長
教育)望月中学校給食推進室長
邊見健康教育課担当課長
森中学校給食推進室担当課長、
※欠席者： 小学校校長 鈴木校長、
川崎市教職員組合 梶間書記次長
教育)星野指導課担当課長 北村中学校給食推進室担当課長
- 事務局：教育)中学校給食推進室 古俣担当課長 細見係長、新田係長、
大谷主任、沼田主任、葛山職員、
米岡職員、新津職員

■内 容 (進行 中学校給食推進室)

— 資料確認 —

— 部会長挨拶 —

- 資料1 説明 (仮称)川崎市南部学校給食センター整備等事業に係る落札者の決定について
資料2 説明 川崎市立中学校における学校給食費の取扱い等に関する要綱

委 員 申込書については、全員提出なのか。

事 務 局 全員提出をお願いしていく。申込書の提出により、債権債務関係の明確化が図られ、未納対応を徹底することができるようになる。

委 員 要綱の申込書様式では、食物アレルギー等の理由により学校給食の停止等について校長の承認が必要などと書かれているが、学校生活管理指導表の提出も必要となるので、それについても明記したほうがよいのではないか。

事 務 局 持ち帰り検討する。

資料3-1説明 学校給食実施基準（抜粋）

資料3-2説明 都道府県別学校給食費平均月額

委員 学校ごとに給食回数が異なることとなった場合、給食費も異なるのか。

事務局 給食費の額が学校ごとに異なると債権者たる学校給食会が管理しきれなくなるおそれがある。今年度は、東橘中学校だけであるので、同校の事情のみで決めさせていただいたが、来年度は、東橘中学校に加え、犬蔵中学校、中野島中学校、はるひ野中学校の4校で、実施回数の調整が必要と考えている。給食回数の統一化、給食費の額の統一化が図られるよう、引き続き調整していきたい。

委員 自校方式とセンター方式で給食費が同じなのか。

事務局 給食費は食材費相当額であるので1食単価は、基本的には同額となる。

資料4-1説明 食に関する指導の手引き—第1次改訂版—

資料4-2説明 政令市配膳方法・時程に関する調査結果

資料4-3説明 県内市配膳方法・時程に関する調査結果

資料4-4説明 他都市食器・食缶類運搬事例

資料5 説明 宮崎中学校給食運搬シミュレーションの実施結果

委員 生徒の動線を考えると一方通行にしたほうがよいのではないか。

事務局 そのような指導も有効。できない学校は他の方法での工夫が必要。

委員 磁器食器を使う理由は。

事務局 磁器食器を手に持ったときの質感を感じて欲しいということや、物を大切に作る気持ちを育むなどの食育の観点から、一部の食器で磁器食器を使用することになった。

委員 食器と食缶を生徒に手運びさせるのは、安全面等について不安な気持ちもある。小荷物専用昇降機や各階ごとの配膳室の整備などについても、長期的に検討しても良いのではないか。

事務局 現段階では、できることとできないこともあるので、給食指導の在り方等について先生方にお示ししながら、各学校にあった配膳等の方法を模索していきたいと考えている。教育委員会としては、身体の不自由な方等のためのエレベーターの全校配置をまずは優先して目指したい。

委員 配膳にかかる時間を短縮して、時程を調整し放課後の時間にあまり影響がないようにしないといけない。また、4時間目には体育や特別活動を避けるなど時程の調整も必要ではないか。

委員 他都市でできないことをやろうとしているわけではないので、工夫してやるしかないだろう。磁器食器や重い食缶などについては、ある程度慣れてから導入するなどできないものか。

事務局 購入した食器を早々に他の物に切り替えてしまうと、購入したものが無駄になってしまう。破損に応じて切り替えていく程度は可能であるが。また、給食センターから温かく安全に給食を配送するため、保温式食缶を導入しているという事情がある。

委員 配膳員の配置は検討しているのか。

事務局 29年度予算に向けた要求事項となる。具体的にはまだ決まっていないので、現時点で明確にすることは難しいが、検討の一つではある。

委員 配置可能な場合には、生徒数や配膳室の位置等も考慮して人数を決定してほしい。

資料6-1説明 政令市給食衣に関する調査結果

資料6-2説明 給食衣の形態について

資料6-3説明 給食衣の形態について2

委員 頭は、三角巾では髪が出て異物混入にもつながるので、帽子の方がいい。エプロンであれば、紐の調整部分の金属やプラスチックのものは破損して異物混入ということもあるかもしれないので考慮する必要がある。小学校では、スモッグである。頭ジラミ等の問題から学校によっては個人で用意しているところもある。

事務局 他都市の中学校では、エプロンが主流のようである。

委員 調理実習でエプロンやバンダナを個人で用意しているので、個人持ちでもいいのではないかと。生徒によっては、持ち回りの物を嫌がったり、洗濯し忘れてりと個人的な指導が必要となる。

委員 持ち回りは小学校でやってきたことなので、できるのではないかと。

委員 小学校よりは中学校のほうが体格に個人差があるので、サイズをたくさん用意する必要があるだろう。

委員 小学校では、衛生面から、食器の下に敷くナフキンを個人持ちで用意している。中学校ではそこまで必要かどうか。

事務局 エプロン等については、引き続き検討したい。

委員 学校給食申込書の管理は学校か。

事務局 学校給食申込書の提出先は、校長と（公財）川崎市学校給食会となる。手数料がかかるが、写しを学校で取り、（公財）川崎市学校給食会へ交付していただくこととしている。学校給食申込書は、学校と（公財）川崎市学校給食会とで管理していただく。

委員 教職員は、債権管理等のお金の管理をしないということか。

- 事務局 現金は扱わないが、学校の口座に振り込まれるので、小学校と同じようなやり方で取りまとめをしていただきたい。
- 委員 給食センターと自校、小中合築校の献立は同じか。
- 委員 給食センターと自校調理ではできることとできないことなどがあり別物だろう。
- 委員 献立作成等の給食管理について、別に話し合う場を持った方が良いのではないか。
- 事務局 現在も多くの会議を有しているので、できればこの作業部会や連絡調整会議を活用したい。

16時00分 閉会